

第11回GG会議と日越下水道セミナー



森田 弘昭
MORITA Hiroaki
(一社)日本非開削技術協会
会長

1. はじめに

日本国は、2010年12月13日付けで国土交通省（以下MLIT）とベトナム社会主義共和国建設省（以下MOC）との間で池口修司国土交通副大臣とカオ・ライ・クアン建設副大臣により「下水道分野に関する技術協力覚書」を締結し、この覚書に基づき様々な協力活動が行ってきた。この中で、日本国が直接行っている取り組みが「ベトナム国建設省と日本国国土交通省の下水道分野における技術協力に関する定期会議」（以下GG会議）である。本稿では2018年3月9日にハノイ市で開催された第11回GG会議と日越下水道セミナーについて報告する。

2. 第11回GG会議

本会議は、メリア・ハノイ・ホテルで開催された。ベトナム側は、MOCとホーチミン市などの地方政府、日本側は、MLITと滋賀県を含む5自治体、GCUSが参加し、これまでの協力活動（2017年3月～2018年2月）の成果と今後の活動計画（2018年3月～2019年2月）について協議が行われた。会議後にMOCとMLITに

より議事録の署名が行われた（写真－1）。

3. 日越下水道セミナー

これまで日越両国はGG会議の一環として日越双方の関心の高いテーマについてセミナーを実施してきており今回のセミナーは、第11回GG会議と同じ会場で3月9日の午前中に開催された。参加者は、MOC、MLIT、日越の地方自治体をはじめ現地の日系企業など総勢100名程度であった（写真－2）。本セミナーでは、ベトナムの下水汚泥管理の現状やベトナム下水道センター、非開削工法など日越合わせて10テーマの発表が行われた。非開削技術に関するテーマは、次の3テーマである。

- ①異形管用自立非開削下水道管路更生工法
：積水化学工業株
- ②ホーチミンにおける推進工法
：ホーチミン市水改善事業部
- ③ベトナム版推進工法基準の改定と推進工法施工上の課題：日本大学

本セミナーの中でMLITよりMOCに対して改定ベトナム版推進工法基準の贈呈が行われた（写真－3）。



写真－1 GG会議議事録署名



写真－2 日越下水道セミナー



写真－3 推進工法基準の贈呈